

科目名	生活環境と人間
科目名(英訳)	Man and Living Environment
科目ナンバー	AA116C01
担当者 (非)は非常勤講師	大橋 岳
単位数	2
開講学年	1年
開講セメスター	春期毎週
履修順序・履修情報	人数制限あり
担当者及び時間割	【春学期】 大橋 岳: 火1-2
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	全学共通教育科目の教養課題教育科目「社会リテラシー」に属する科目である。学部・専門分野にかかわらず、専門職業人／有識社会人として社会の諸問題を判断し解決するための、社会のしくみに関する基礎的知識・素養を身につける。この科目では、様々な地域において、その地域の自然的条件や社会的条件に応じた多様な生活環境が生み出されてきたことを、地図などの資料から適切に読み取り、そこで発生しうる諸問題を想定するなどして、多くの人々にとってより良い生活環境を考えていく。なお、履修にあたっては所属する学部学科の教育目的との関連についても確認することが望ましい。
身につく基礎力 / 身につく汎用力	調査・情報収集力 クリティカル思考力

授業の主旨 (概要)	わたしたちの日々の生活はまわりの環境から多くの恩恵を受けている。一方で無意識であっても環境に大きな負荷をかけているのも現状である。環境とうまくつきあっていくにはどうすればいいのか。わたしたちの生活が環境やそこにすむ野生動物にどのような影響を与えているのかを紹介するとともに、その解決策を考えていく。		
具体的 達成目標	生活環境と人間に関する知識を学ぶことによって、今まさにわたしたちが生きている現代社会の諸問題を考察するための新たな視点を獲得する。わたしたちの日々の生活が、グローバルに与える影響、将来にわたって与える影響について考えることができる。		
授業計画	1	【内容】	第1回: ガイダンス: 授業の目的と内容
		【授業外学習】	事前: シラバスを確認し、各回のキーワードについて調べておく。 事後: わたしたちの生活環境を豊かにするために、どこから、どのようなものを得ているのか考える。
	2	【内容】	第2回: わたしたちの暮らしと世界とのかかわり① パームオイルについて
		【授業外学習】	事前: パームオイルとは何か、調べておく。 事後: 授業で扱ったパームオイルの問題について考え、身近な商品のなかで何に含まれているか、どのように表記されているのか確認する。
	3	【内容】	第3回: わたしたちの暮らしと世界とのかかわり② 木材について
		【授業外学習】	事前: わたしたちがどのように木材を使っているか、考えておく。 事後: 授業の内容を振り返り、わたしたちの生活が東南アジアの熱帯雨林に与える影響について考える。授業で扱ったキーワードを再確認する。
	4	【内容】	第4回: 熱帯林と地域住民の暮らし① 野生動物の生息地減少について
		【授業外学習】	事前: 野生動物の生息地が減少している理由について、考えておく。 事後: アフリカの熱帯雨林にくらすチンパンジーの生息地減少について、地域住民の活動だけでなく、グローバルな経済活動の影響について考える。
	5	【内容】	第5回: 熱帯林と地域住民の暮らし② ブッシュミートについて
		【授業外学習】	事前: ブッシュミートとは何か、調べておく。 事後: アフリカにおけるブッシュミートのもたらす影響について、グローバルな視点から考える。
	6	【内容】	第6回: 生物多様性① 生物多様性とは何か
		【授業外学習】	事前: わたしたちが生態系から受ける恩恵について具体的な事例をイメージする。 事後: 生物多様性の重要性が叫ばれる理由を授業内容を思い出ししながら再確認する。
	7	【内容】	第7回: 生物多様性② 生物多様性に関わるさまざまな条約

		【授業外学習】	事前： 自然環境を悪化させる要因とその影響について調べておく。 事後： 授業で扱った生物多様性にまつわる条約や法律について、時代背景とともに整理する。
	8	【内容】	第8回：生物多様性③ 私たちに何ができるか
		【授業外学習】	事前： 前回学んだ条約や法律のもと、国や企業がどのように取り組んでいるか考える。 事後： 生物多様性を守るために、わたしたちに何ができるのか考える。
	9	【内容】	第9回：外来生物の定着とその影響① 外来種とは何か
		【授業外学習】	事前： 身の回りにどのような外来種がいるか列記し、その由来と影響について考える。 事後： 外来種が与える影響や法整備の流れについて、授業内容を思い出し、再確認する。
	10	【内容】	第10回：外来生物の定着とその影響② 国内外来種問題について
		【授業外学習】	事前： 国内外来種ということばについて、調べておく。 事後： 国内外来種問題についてふりかえり、放流や植林、さらには野生動物の再導入の問題点について考える。
	11	【内容】	第11回：里山と野生動物
		【授業外学習】	事前： 生物多様性を保全するうえでの里山の価値を考える。 事後： 授業内容を再確認するとともに、人と野生動物との軋轢とその解決策について考える。
	12	【内容】	第12回：飼育される動物たち① 家畜について
		【授業外学習】	事前： 日常的にわたしたちが蛋白源として何をどのようにどのくらい獲得しているか調べておく。 事後： 家畜について論じられてきたことを、授業内容を思い出しながら再確認する。
	13	【内容】	第13回：飼育される動物たち② 動物園について
		【授業外学習】	事前： 動物園という場所をイメージしながら、その果たす役割について考えておく。 事後： 動物園の現状をふりかえり、改善すべき点やわたしたちのかかわり方について考える。
	14	【内容】	第14回：飼育される動物たち③ ペットやテレビに出てくる動物について
		【授業外学習】	事前： 身近に触れ合うペットやテレビに出てくる動物とどのようにかかわっているか、考えておく。 事後： 授業内容であつかった内容を振り返り、動物とのかかわり方について改めて考える。
	15	【内容】	第15回：まとめ（授業時間内にてレポート試験の実施）
		【授業外学習】	事前： これまでの授業で紹介した話題について、ふりかえっておく。 事後： あらためて、授業内容で触れた問題について、わたしたちに何ができるか考える。
授業方法	プレゼンテーションソフト(パワーポイント)を用いた講義形式ですすめる。		
成績の 評価方法	各回に提出を求める授業内容に関連した小レポート(5点×14回＝70点)、および第15回目に実施するレポート試験(30点)の合計点と受講態度から総合的に評価する。		
成績の 評価基準	レポートでは講義内容を理解し自分の考えを述べるができるかを重視する。 上記の評価方法で60%以上を単位取得の条件とする。		
教科書			
参考文献			